



神戸では10年ぶりの上演
大曲「道成寺」を披露

— 第三回笠田祐樹之会 笠田昭吟会百周年記念 —

公演日時 2026年3月29日(日) 14時開演
会場 湊川神社 神能殿
演目 「道成寺(どうじょうじ)」ほか



神戸市須磨区生まれの観世流能楽師シテ方笠田祐樹(35)が能公演を開催。昭和元年に初代笠田吉藏により設立された「笠田昭吟会」の100周年の記念として、神戸ではプロの能楽師として10年ぶりに大曲「道成寺」を披露します。

能「道成寺」は若手の登竜門であり、「卒業論文」ともいわれています。それは、決して能楽師を卒業するという意味ではなく、今まできちっと修行をしてきた成果を皆様に披露するという意味であり、決められた事をきっちりと演じることが重要となります。また体力、精神力を必要とし、口伝秘伝も多く、観世宗家のお許しがなければ演じることのできない曲でもあります。

笠田家の能楽師として4代目を継ぐ祐樹は、幼少から祖父・故笠田稔や父昭雄に能を習い、数々の舞台に出演。大学卒業後、上田貴弘師に住み込み弟子として入門。22年6月に独立し、23年9月 第一回笠田祐樹之会、24年10月 第二回笠田祐樹之会、そして来たる26年3月に第三回 笠田祐樹之会にて「道成寺」のシテを勤めます。「道成寺」は能の抜き物にあたり、祐樹はこの公演で「道成寺」を抜きます*。

*「抜き」…能楽師が節目となる大曲・難曲、またはそれらの曲の役を初めて演じること。
今回の公演には、26世観世宗家 観世清和師、嫡男観世三郎太師、16世福王宗家 福王茂十郎師、16世大倉宗家 大倉源次郎師など、能楽界の第一線で活躍されている重鎮の先生方にもご出演いただきます。観世宗家には舞囃子「安宅 延年之舞」を舞っていただき華を添えて頂きます。

道成寺の見どころ

- 「乱拍子」：20分以上にも及ぶシテと小鼓の一騎打ちの時間。
息を合わせ、静かに一歩ずつ舞台を鱗型に一周する。
この緊張感のある時間は能「道成寺」ならではの。
- 「静と動」：乱拍子の緊張した静寂の空気から一転する動の時間。
「急之舞」といわれる能の中で最もスピードが速い舞に注目。





「鐘入り」：舞台に吊るされた100キロ近い鐘の作り物。

和歌山県の道成寺の鐘を表した。この鐘に執心のある女が一気に中に飛び込む。怪我や事故が多く、寸分のタイミングのずれも許されない息を飲む瞬間。

笠田祐樹 — 略歴 —

1990年9月3日 神戸市須磨区に生まれる

1992年 素謡「隅田川」にて初舞台

2001年 能「花月」にて初シテ

2013年 関西学院大学卒業後 上田貴弘師
に内弟子入門

2022年6月 独立

神戸・大阪を拠点に国内・海外での公演やワークショップに出演。

子どもたちに古典芸能に親しんでもらおうと小学生向け夏休み体験教室を開催。

趣味：ヨット操縦と能面彫り 好きなもの：インドカレー

「道成寺」あらすじ

紀州(現在の和歌山県)の道成寺は、女が恋の恨みから、鐘に隠れた山伏を鐘ごと焼き殺すという一件があった以降、女人禁制となっていた。

ある年の春、焼失していた鐘を再興する法要(鐘供養)が行われる。道成寺の住僧(ワキ・福王茂十郎)は能力(注1)(アイ・善竹隆平)に女人禁制を強く言い渡すが、一人の白拍子(注2)(前シテ・笠田祐樹)がどうしても見たいと懇願する。女は舞を見せる代わりに入寺を許可され、舞を舞い始める。女は舞いながら恨めしげに鐘を見上げ、ついに鐘の中へと飛び込み、女は姿を消すのであった。

【中入・鐘入】

事態に驚く能力たち(アイ・善竹隆司)。住僧は僧侶たち(ワキツレ・福王知登、喜多雅人)に鐘にまつわるかつての事件を語り始める。「鐘へ飛び込んだ白拍子は、山伏を焼き殺した女の怨霊だったのだ」と僧侶たちと祈祷を行う。鐘の中から蛇體と化した女(後シテ・笠田祐樹)が姿を現わし、僧侶たちに激しく襲いかかるが、法力によって蛇體は自らの吐く炎に身を焼き、日高川へと消えていく。

(注1) 能力(のうりき):寺で力仕事をする僧

(注2) 白拍子(しらびょうし):女性芸能者。



公演詳細

第三回 笠田祐樹之会 笠田昭吟会百周年記念

令和八年三月二十九日(日) 十四時開演

於 湊川神社神能殿

番組

舞囃子

松

風
戯之舞

笠田 昭雄

大鼓 山本 寿弥
小鼓 清水 皓祐

笛 野口 亮

地謡 上田 顕崇
上田 宜照

藤谷 音彌
山下川 宜長
山田 義高

仕舞

笠之段
網之段

観世三郎太
上田 貴弘

山本 麗晃
吉井 基晴
山本 章弘
林喜右衛門

舞囃子

安

宅
延年之舞

観世 清和

大鼓 山本 寿弥
小鼓 清水 皓祐

笛 野口 亮

地謡 今村 嘉太郎
井戸 良祐

上田 大介
藤井 完治
山本 章弘

〈休憩二十分〉

能

道成寺

白拍子
笠田 祐樹

從僧 喜多 雅人
從僧 福王 茂十郎
從僧 福王 知登

能方 善竹 隆平
能方 善竹 隆平

大鼓 山本 哲也
小鼓 大倉源次郎
大鼓 中田 弘美
小鼓 齊藤 敦

後見 観世 清和
坂口 貴信

大槻 裕一
山中 雅志
林本 大

吉井 基晴
上田 拓司
上田 貴弘
笠田 昭雄

鐘後見 上田 公威
林喜右衛門 樹下 千慧
今村 哲朗
井上裕之真

2026年3月29日(日) 14時開場 13時開演 会場 湊川神社神能殿

〈チケット料金〉 SS席15,000円 S席12,000円 A席8,000円 B席7,000円

棧敷席(4名着席可)25,000円 U25席(B席)3,000円

当日券は各席1,000円追加

〈申込〉 teket: <https://teket.jp/6211/57093> または電話にて TEL078-330-7265

〈事前講座〉 2026年3月7日(土)11時~12時20分 湊川神社神能殿

「道成寺」の見どころを解説。初演にかける思いも語ります。 / 受講料2,000円

主催 笠田能楽会 後援 兵庫県、兵庫県芸術文化協会

— 取材についてのお問い合わせ —

笠田能楽会事務局 TEL&FAX 078-330-7265 E-mail: mail@kasada-shouginkai.org

<https://yukikasada.com>